

## 3年ぶりの総会開催

2022(令和4)年6月27日(日)に緑友会総会が開催されました。

久々の開催に向けて、休校措置が取られた時に母校に負担とならぬよう、例年の芸文棟ではなく、母校近くの平野区画整理記念会館大ホールで行いました。

当日は、入口周辺で年史や緑友会報のバックナンバーの提供やアメニティ(食品サンプル)



川本新会長就任挨拶

の販売が行われるなど、雰囲気盛り上げ中、萩原校長をはじめ学校関係者の出席もいただき、



年度報告をする坂田前会長



坂田前会長への花束贈呈

### 役員

名誉会長	萩原 美由紀	校長
会長	川本 正人	(普通科 21 期)
副会長	渡真利 由香	(普通科 25 期)
副会長	末浪 莞樹	(芸能文化科 2 期)
書記	久下 英孝	(普通科 28 期)
書記	石橋 安恵	(普通科 30 期)
書記	萩原 泰之	(普通科 31 期)
会計	前岡 桂子	(普通科 5 期)
会計	吉川 憲司	(普通科 16 期)
会計監査	山口 文子	(普通科 18 期)
会計監査	糸井 利則	(普通科 23 期)
理事	坂田 繁数	(普通科 12 期)

き、2年分の決算や事業報告など、盛りだくさんの議題を満場一致ですべて承認しました。

なお、この総会を機に坂田繁数氏が会長職を辞し、川本正人副会長の会長就任が承認されました。また、末浪莞樹書記の副会長就任が承認されました。

### 会長挨拶

2万8000人の力を母校に

会長 川本 正人(普通科21期生)

就任ごあいさつは、緑友会ホームページの「会長だより①」に譲り、本題に入らせていただきます。

コロナ禍にもかかわらず、在校生の授業満足度は近年ずっと府内トップクラスです。芸能文化科も、同科生全員による中学校訪問などが奏功し、3年ぶりに定数に達しました。厳しい環境下であって、教職員も在校生も健闘していると言っていいでしょう。

そんな母校が今、私たちに望んでいることがあります。緑友会館1階の「食堂改修」です。2024年に迎える創立70周年の記念事業として、食事だけでなく談話や会合など多目的に使える空間にできないか、というのです。

私たち役員会は、これにお応えすることにしました。できれば様々なイベントまで行える「(仮称)緑友ホール」に整備できないかと構想を膨らませています。卒業生は今や2万8000人。あらゆる分野、世界中のあらゆる地域でわが道を歩まれ、足跡を残しておられます。そのみなさまのお力があれば実現可能です。

寄付や会費納入をしていただきやすく、卒業生データも正確に更新していける電子システムも導入しました。ご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

会長だより①



### 校長挨拶

伝統を継承することとは

東住吉高等学校 校長 萩原 美由紀

「伝統とは形を継承することを言わず、その魂を、その精神を継承すること而言う」。柔道の創始者・嘉納治五郎師範の言葉です。

私が本校に赴任した令和元年度末以降、新型コロナウイルスとの闘いの中で、東住吉高校の輝かしい伝統をどう継承していくか、常に大きな課題となりました。

体育祭等の学校行事も従来の伝統の形のまま実施することはできず、常に新しい形を模索することとなりました。しかし、幸いなことに、本校の生徒や教員は、困難な状況においても自分たちで今できる最大限のことは何かを考え、行動し、皆で協力しながら壮大な体育祭や圧巻の舞台を披露してくれました。まさに、東住吉高校の伝統を新しい形で継承することとなったのです。

この間、学校現場では、1人1台端末が導入され、緑友会より寄贈いただいた電子黒板・タブレットを活用した課題配信や探究活動、芸能文化科卒業発表会のライブ配信、Webによる欠席連絡、会議のペーパーレス化などを進めてまいりました。

このように時代の変化に応じて、東住吉高校が前へ進むことができるのは、緑友会の皆様方によるご支援の賜物と教職員一同、感謝しております。

